

## 「耳で聴くハザードマップ」の利用ができるようになります ～ハザードマップを目で見て確認することが難しい方の避難行動を支援～

千葉市では、視覚に障害があるなどハザードマップを目で見て確認することが難しい方の避難行動を支援するため、「耳で聴くハザードマップ」サービスの利用を開始しますので、お知らせします。

これにより、音声読み上げアプリ「Uni-Voice Blind<sup>ユニボイスブラインド</sup>」を使って、現在地における災害リスクや気象情報、最寄りの指定緊急避難場所情報などを音声で聴くことができるようになります。

### 1 利用開始日

令和7年4月15日（火）

### 2 利用方法

- ①スマートフォンに「Uni-Voice Blind」アプリをインストール
- ②初期設定が完了すると音声コードのスキャン画面が立ち上がるので、画面上部にある現在地のアイコンをタップ
- ③現在地の情報画面でハザードマップアイコンをタップすると、ハザードマップを音声で聴くことができます

※別添チラシ裏面「ご利用方法」参照

### 3 利用料

無料（インストール等に伴う通信料は使用者の負担になります）

### 4 周知方法

市ホームページやSNS、広報チラシなどで周知するほか、今後、特定非営利活動法人千葉市視覚障害者協会をはじめ、関係団体とも連携し、周知する予定です。

### 5 その他

市の事業によりサービスを行う対象範囲は、千葉市域となります。

なお、千葉県の事業によるサービスも同日から開始する予定のため、千葉県全域で同サービスが利用可能です。

#### <参考> 「Uni-Voice Blind」アプリについて

企画・監修 特定非営利活動法人日本視覚障がい情報普及支援協会（JAVIS）

開発・運用 Uni-Voice 事業企画株式会社